

## 渡名喜地区大型魚礁調査

### 渡名喜沖大型魚礁調査

1. 設置年度……昭和53年度（昭和53年11月竣工）

2. 設置個数……1,312個

3. 設置場所……水深93m

a. 設置場所……渡名喜島南の五六ノ崎より真方位87度2,000m

Lat 25°-20'-48"N Long 127°-10'-36"E

b. 山立て方法……① 渡名喜島の東の主埼と北の岩原の地の山（146m）のすそが一線になる。

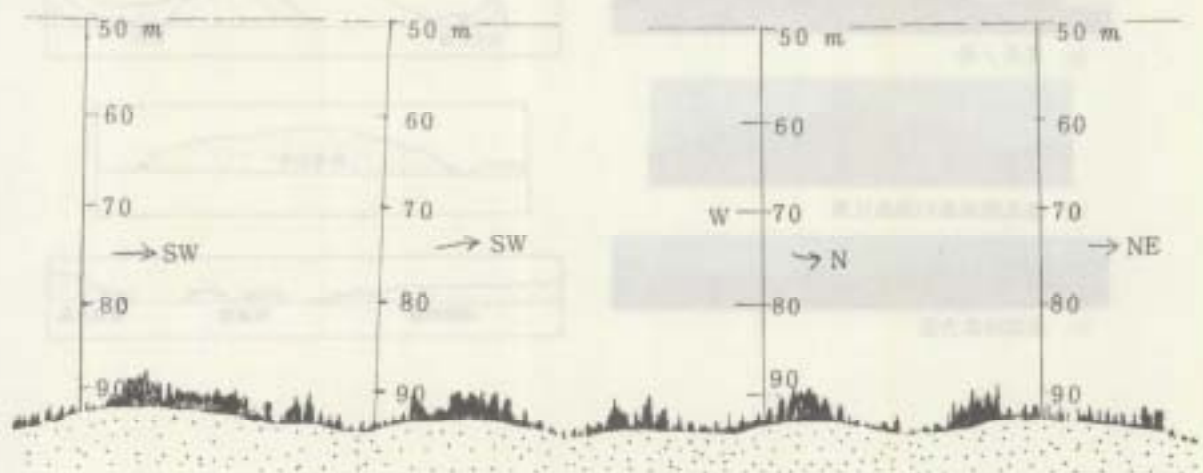
② 主埼と五六ノ崎の間の海岸の岩と五六ノ崎と大岳の間の山とが一線になる。

c. 山立て図及び写真（次ページ）



### 4. 魚礁の設置状況

a. 魚礁設置断面（魚探記録）

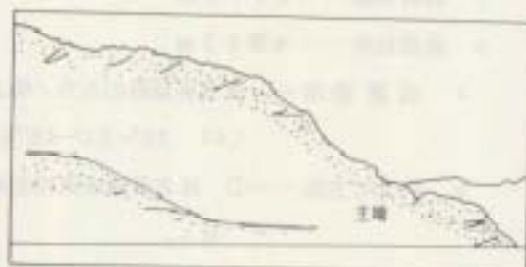




① 主島(手前)から岩原ノ崎をのぞむ



② 主島



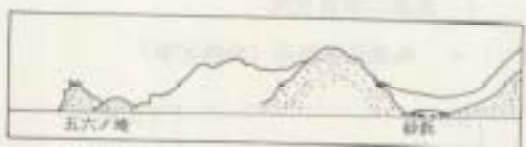
③ 主島の両側



④ 主島と五六ノ崎との中間域



⑤ 五六ノ崎



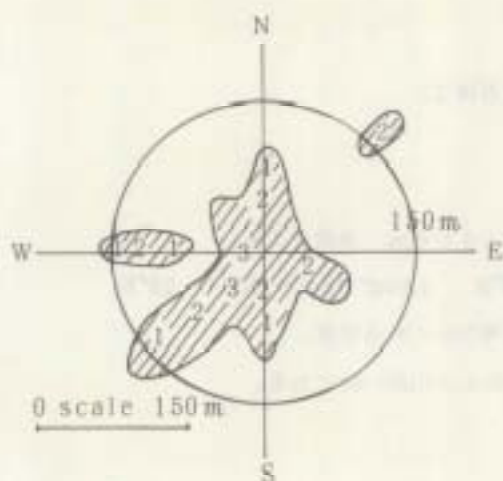
⑥ 豊良間諸島の屋高比島



⑦ 座間味島方面



b 魚礁配置形態模式



(1.2.3は1段2段3段積み)

広がり是最長23.0m、高さは最高3段

(4.5m)である。

5 魚礁効果確認調査

設置2ヶ月後の調査ではホオアカクチビ1尾、ハマフエフキ1尾、オオヒメ2尾、計4尾、5.9kg、カニ、エビ(アヒ)、タコの仔、小魚の胃内容物が見られる。3ヶ月後にはホオアカクチビ1尾、アマミフエフキ1尾、ヨスジフエダイ4尾、計6尾、4kg、胃内容物は1ヶ月目と同じ、4ヶ月目ではホオアカクチビ2尾、サザナミダイ1尾、計3尾、3.8kgで胃内容物は同じである。魚具は1本釣り(多釣りで21号20本)、餌はカツオの切身、作業時間は各5時間程度、天候が時化模様で悪い条件での操業であった。(姓名高村漁協の委託調査報告)

結果は次の表のとおりである。

調査年度		53			
報告者	水 試		漁 業 者		
調査月日	54年1/20、2/18、3/10				
調査船舶					
調査員	渡名喜漁協				
調査魚具	1本釣り、計60本				
調査回数	3				
魚 獲 量	13.7kg				
尾 数	13				
魚 種	尾 数	重 量	尾 数	重 量	
ホオアカクチビ			4	2.9	
ハマフエフキ			1	2.2	
オオヒメ			2	3.2	
アマミフエフキ			1	2.2	
ヨスジフエダイ			4	1.2	
サザナミダイ			1	2.0	